

大富神社の神幸祭【おおとみじんじゃのじんこうさい】



開催場所

豊前市大字四郎丸及び八屋
大富神社、住吉神社

開催日

4月30日・5月1日

指定

福岡県指定無形民俗文化財

【芸能の概要】

大富神社の春の大祭である「神幸祭」の起源は古く、『宗像八幡宮縁起』によれば740(天平12)年の「藤原広嗣の乱」に際し、その鎮圧に功績のあった上毛郡擬大領紀宇麻呂の凱旋の様子を模したものといわれている。江戸時代までは夏の「夏越祭」と同時に行われていたが、明治初年に分離し、毎年4月30日と5月1日の両日に行われるようになった。

【芸能の特徴】

神幸祭の起源は古く、「宗像八幡宮縁起」によれば、740(天平12)年の藤原広嗣(ひろつぐ)の筑紫の乱に際し、上毛郡より紀宇麻呂等が出陣し無事乱を平定し凱旋した。これは、神威によるものと尊び、宮殿、神門を造営し、八屋八尋浜に神輿を奉納して茅輪神事の行法などを行ったのが、神幸祭の起源だといわれている。神幸祭の行列は、その時の紀宇麻呂の凱旋する様子を模したものだといわれており、これが現在まで受け継がれている。

神幸行列の次第を表した古文書が現存しており、古式を守り昔の盛時を偲ぶ形態が伝承されている。神幸大祭全般は、県無形文化財、山田の感応楽は国選択文化財に指定され、4か町に亘る氏子が奉仕する豊前地区最大の神事である。

【使用する祭具・道具など】

山鉦(2台)、大舟(2台)、踊車(3台)はそれぞれ大型で、氏子100人程で曳く。特に山鉦には車が付いていないため、氏子が担ぎ、曳く様子は圧巻である。

・アクセス

JR日豊本線豊前松江駅より車で10分

・周辺の観光

天地山公園、豊前温泉「天狗の湯」、求菩提温泉「ト仙の郷」、「畑冷泉館」遊の里、求菩提キャンプ場、シャクナゲ展示園

城山公園さくら祭り(4月上旬)

つつじ祭り(4月下旬~5月上旬)

豊前みなと祭り(8月第1土曜日)

カラス天狗祭り(11月第2土・日曜日)

・近くの特産品

豊前茶、ゆず、レタス、川底柿、豊前カキ、豊前本ガニ、豊前本鱈

